

校長室通信 9/24 46号

避難訓練(不審者対応)

本日は、県警からスクールサポーターの川口さんに来校いただき、不審者対応訓練を実施いたしました。特に、不審者に対する我々教職員の対応についてご指導いただきました。その後、運動場へ避難した子供たちにも指導いただきました。

校長からは次の話をしました。

今日は「今から全校鬼ごっこ集会を始めます。鬼は玄関にいます。」の放送が不審者侵入の合図でした。不審者は刃物や凶器を持っているかもしれません。人を、子供たちを、傷つけよう、殺そうと思って来ているかもしれません。「私は強いから大丈夫」「私は対抗できる。」という人もいるかもしれません。しかし、本当にそうでしょうか。刃物や凶器を持った、大きな大人相手に戦うことが正しいでしょうか。校長先生はいつも言っています。「みんなの命の安全が一番大切です。」1年生も先生方も685名のみんなが安全に避難できなければなりません。”真剣さ”はどうだったでしょうか。一人でもルールが守れないとみんなが迷惑をします。「命は、一つ」です。テストや試合のように、やり直しや次はありません。命に関わることだと思って次は「もっと真剣に」取り組みましょう。

今回皆さんは、自分の教室からみんなで整列して避難してきました。しかし、実際は皆さんがどこにいるときに不審者が侵入してくるかわかりません。運動場にいるとき、トイレにいるときに入ってくる可能性もあるでしょう。

自分の命は自分で守る。このことを「自助」といいます。自助ができなければ、周りの友達と協力して助け合うことはできません。力を合わせて協力することを「共助」といいます。この、「自助」と「共助」ができる小柙小のみんなになりましょう。

真剣に話を聞く子供たちでした。

